



「カタール通信」

第2号

ドーハ日本人学校教諭 榊原 範久

知多市の皆さん、こんにちは

日本は梅雨に入り、じめじめ暑い日が続いていることと思います。カタールはというと・・・、屋外の温度計を見ると、常に40℃以上！私がこれまでに見た一番高い気温は49℃でした。夜は、気温も下がり、35℃前後になります。日本にいるときは35℃まで気温が上がれば、汗だくだったように思いますが、35℃を少し涼しい・・・と感じてしまう今日この頃です。

さて、世界には、海外で暮らす日本の子供達が学ぶための日本人学校が80校以上あります。バンコクやシンガポールなど児童数1000人以上の大きな学校もあれば、私が現在勤めているドーハ日本人学校のように児童数が10人にも満たない小さな学校もあります。日本とは異なる環境においても、日本に住む小学生と同じように、一生懸命学習に取り組んでいる子供達が世界にはたくさんいます。

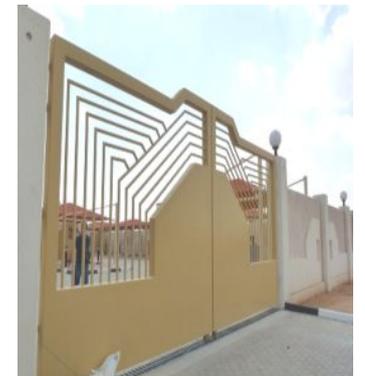
今月のカタール通信では、**ドーハ日本人学校の紹介～パート1～**をお伝えします。

1 入学式&開校式



全校生徒わずか9名でのスタートです。手作り感あふれるあたたかい雰囲気で行われました。榊原学級は、小学部中学年クラスでたったの2人ですが、とても頑張り屋の2人です。開校式にはカタールの副首相や教育大臣も出席し、翌日の新聞にはその様子が大きく取り上げられました。

2 校舎の様子



ドーハ日本人学校の玄関は金色でピカピカです。派手好きな中東・カタールらしいデザインです。一枚板に立派に書かれた「ドーハ日本人学校」という看板は、知多市から寄贈

されたものです。真ん中の写真は校舎ですが、砂ぼこりの多いこの国では、少しでもそれを防ぐためにこのような小さな窓になっています。左頁右下の写真は、学校の入り口の立派な門です。ガードマンが在駐し、常に安全な環境が確保されています。



左上の写真は、中学年の教室の様子です。黒板ではなく、ホワイトボードを使って学習しています。広い教室に、たった2人の児童…少し寂しい感じですが、やる気は日本に住む子供達に負けません！真ん中の写真は、ホールです。気候が厳しく、外で遊ぶことが難しいドーハっ子は、このホールでバドミントンをしたり、鬼ごっこをしたり、大なわ跳びをしたり…工夫して室内遊びをしています。右の写真はランチルームです。日本人学校には給食がないため、毎日お弁当を持って登校します。全校児童&先生が集まり、全員で一緒にランチタイムです。卓球台もあって、放課はここで遊ぶこともあります。



左上の写真は図書室です。まだ、本が少ないのが残念ですが、落ち着いて過ごせる場所です。真ん中の写真は、理科室です。いろいろな実験器具や装置が揃っています。人体模型などもあります。この他にも、音楽室、家庭科室、図工室、PC室…などなど日本の学校と同じように特別教室がいくつかあります。右の写真は、廊下の掲示物の写真です。子供達の力作揃いです！！人数は少ないですが、みんな頑張っています！！自分たちの学校が大好きな子供達ばかりです。

次のカタル通信では、ドーハ日本人学校の紹介～パート2～で、授業の様子をお伝えしたいと思います。

日本もこれから気温がどんどん上がり、本格的に夏の到来を迎えることと思います。知多市の皆さんも、お体には気をつけてお過ごしください。

